

公募全国書道コンクール

後援 文化庁・東京都

- 総務の部 ● 師範の部 ● 一般部
- 学生部 (幼児・小・中・高)
- 小学硬筆「書き方」
- 中学ペン字部
- ペン字部

代表	大倉谷山
実行委員長	服部大超
実行委員	金子閣亭
	石川升心
	友岡秋英
	大野幸子

本院の創立と同時に開催されてきた、半紙における一大イベントである全国書道コンクールは六十七回を迎えました。優秀作品は、六本木の国立新美術館・(第四十六回全書芸展会場)に華々しく展示されます。授賞式は十二月十七日(日) 神田一ツ橋如水会館で挙行し、賞は文部科学大臣賞、東京都知事賞他を授与いたします。ふるって力作を応募して下さい。特に師範の部(漢字・かな・ペン字)の方々の力作を期待いたします。なお、会員以外の方も出品できます。

主催 全日本書芸文化院

出品規定

- 部門**
- 幼児部・小学部 半紙・硬筆「書き方」各三点以内。合計六点まで出品できる。
 - 中学部 半紙・漢字、かな、中学ペン字各三点以内。合計九点まで出品できる。
 - 高校部 半紙・漢字、かな、ペン字各三点以内。合計九点まで出品できる。
 - 一般部 半紙・漢字、かな、ペン字各三点以内。合計九点まで出品できる。高校生以上可。
 - 師範の部 半紙・漢字、かな、ペン字各三点以内。合計九点まで出品できる。本院師範位、理事、常任理事に限る。
 - 総務の部 半紙・漢字、かな、どちらか一点。本院総務に限る。

※硬筆「書き方・ペン字」の出品用紙は本院発行の用紙を使用のこと。
漢字部 紺紙・金泥・銀泥不可。
かな部 料紙・いろ紙不可。

課題

- ▲ 学生部 既刊全書芸誌各学年の競書語句、教科書語句、その他自由
- ▲ 幼児・小学硬筆「書き方」 既刊全書芸誌各学年の競書語句
- ※全書芸誌各学年の競書語句は他学年の課題は不可。
- ▲ 中学ペン字 全書芸誌の競書語句四級以上の課題(横書き不可)。
- ▲ ペン字 規定語句・裏面参照。
- ▲ 一般部・師範の部・総務の部 臨書・創作いずれも可。

出品料

- (郵便振替利用納入のこと)
- 学生部 一点・五百円
- 書き方 一点・五百円(幼児・小学硬筆部)
- 中学ペン字 一点・五百円
- 高校ペン字 一点・五百円
- 一般部 一点・千円
- ペン字 一点・千円
- 師範の部 一点・二千円
- 総務の部 一点・三千円

出品方法

- ※出品票 所定の学生部・硬筆「書き方」・一般部・師範の部・総務の部の出品票を作品左下に貼る。出品票はコピーでも可。
- ※出品目録 個人、団体を問わず出品目録をつける。出品点数を記入する。
- (7月号に同送)
- ・ 学生部毛筆作品には必ず学年を記入する。
- 「書き方」「中学ペン字」は出品票に必ず学年を記入する。

一人二点以上の場合、各作品に出品票を貼り、作品上部右端をクリップで止める。

- ・ 師範の部は師範部用出品票を貼り、一般部と区別すること。
- ・ 総務の部は総務部用出品票を貼ること。
- ※会員はバーコードシールを出品票に貼る。

送り先

全日本書芸文化院コンクール係
郵便 101-8715 千代田区神田郵便局私書箱37号
宅配便 101-0054 千代田区神田錦町1-10-1

サクラビル1F

TEL 03(3294)3551

振替 001501712351

出品締切

平成二十九年九月十五日(金) 必着

審査

本院委嘱の審査員が厳正公平に行う。
審査後十一月中旬までに結果を通知する。

成績発表

本誌十二月号誌上に特選以上掲載発表。

授賞

- ◎ 文部科学大臣賞 幼児〜一般の中から一点選出授与
- ◎ 東京都知事賞 幼児〜一般の中から一点選出授与
- 個人部 最優秀大賞 賞状 特製トロフィー
優秀賞 賞状 特製カップ
特選賞 賞状 副賞
金賞 賞状 副賞
銀賞 銅賞 賞状
- 師範の部 特別大賞 賞状 特製メダル 副賞
特別賞 賞状 副賞
秀作賞 賞状 副賞
- 総務の部 代表賞 表彰状 記念品
副代表賞 表彰状 記念品(該当者無しもあり)
- 団体の部 最優秀賞 表彰状 特大トロフィー
優秀賞 表彰状 記念品
優良賞 表彰状
奨励賞 表彰状

展示

優秀作品を第四十六回全書芸展会場内に展示する。
一般部、学生部、書き方、ペン字共に優秀賞以上。
師範の部は秀作賞以上。
総務の部は優秀作品。

会期

十二月十四日(木)〜十二月二十五日(月)
午前10時〜午後6時まで(入館5時半まで)
但し十二月十九日(火)は休館日、最終日は二時まで

会場

国立新美術館 港区六本木七-22-1

授賞式

十二月十七日(日)如水会館にて午前十一時より

- ▲ 一般部・学生部 最優秀大賞・優秀賞 第一席・第二席・第三席
- ▲ 師範の部 特別大賞、特別賞
- ▲ 総務の部 代表賞、副代表賞
- ▲ 団体優秀賞以上(代表者)

懇親会

総務の部、師範の部、一般部のコンクール入賞者・全書芸展入賞者合同懇親会を行います。

全国書道コンクール一般・高校ペン字部規定語句

A 日本の古典

- ・ 文語文
- ・ 書式 表題・作者名含めて五行
- ・ 書体自由 変体仮名、連綿可

課題Ⅱ春秋の争ひに 昔より秋に心寄せる人は数まさりけるを 名だたる春の御前の
花園に心寄せし人々 またひきかへし移ろふ気色 世のありさまに似たり

源氏物語 紫式部

●印は必ず漢字

大意Ⅱ春秋の優劣に、昔から秋に心を寄せる人は数多くいたが、名高い春のお庭先の花園に心を寄せた人々が、再び筆を返すように秋に心変わりする様子は、時勢におもねる世情と似ていた。

B 現代文（漢字かな交じり文）

- ・ 書式 表題・作者名含めて五行
- ・ 書体自由 連綿可 変体仮名不可

課題Ⅱ書に就いて 武者小路実篤

新しい所では良寛と、慈雲に感心している。良寛の無心さと、美しい澄み切った
境地、慈雲の心境も、脱俗しながら、力強く自由だ。どうも評が下手だが。

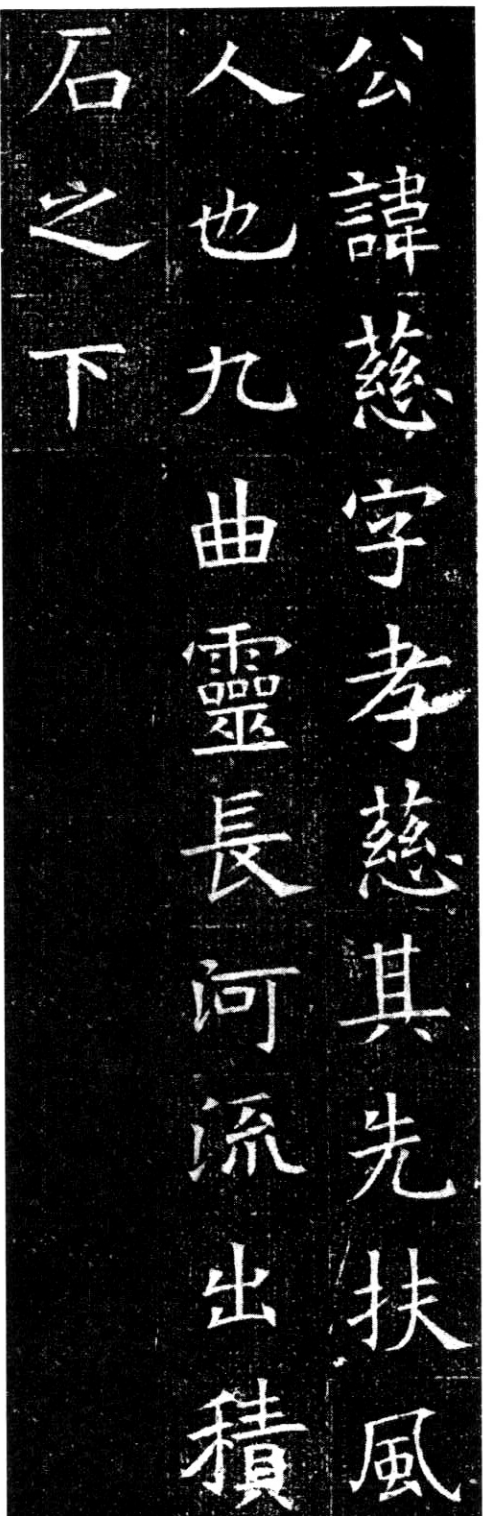
（一部現代かな遣いに直してあります。）

C 臨書

- a 漢字 b かなは選択
- a 漢字

- ・ 規定用紙に3行（1行の字数は自由）

蘇孝慈墓誌銘



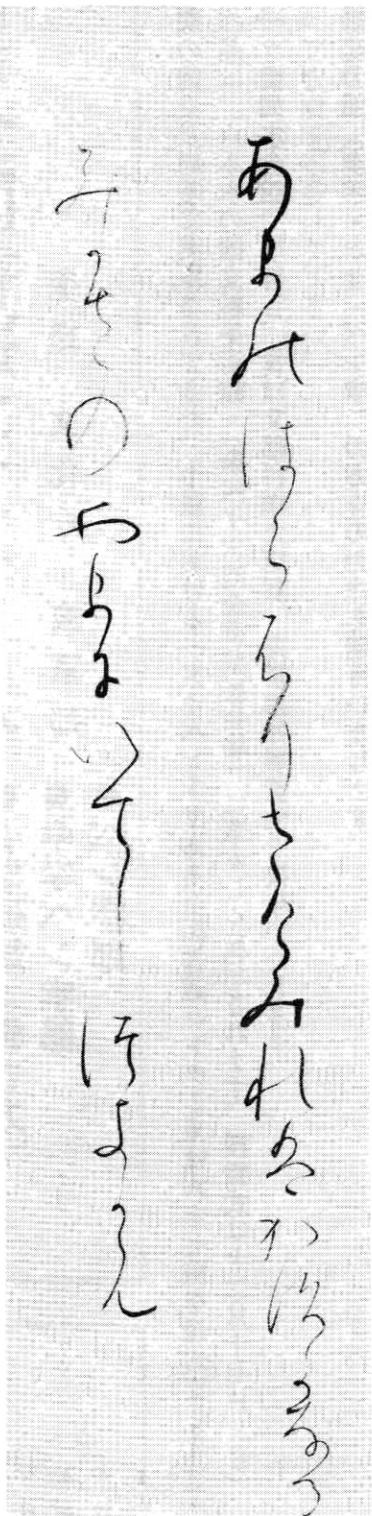
釈文Ⅱ公諱慈。字孝慈。其先扶風人也。九曲靈長。河流出積石之下。

b かな

- ・ 規定用紙に2・3行または散らし書き

高野切第一種

釈文Ⅱあまのはらふりさけみればかすがなるみかさのやまにいでしつきかも



※A・B・Cの三点出品可

※筆記用具は全てツケペン、万年筆、ボールペン、細サインペン（いずれも黒）を使用してください。